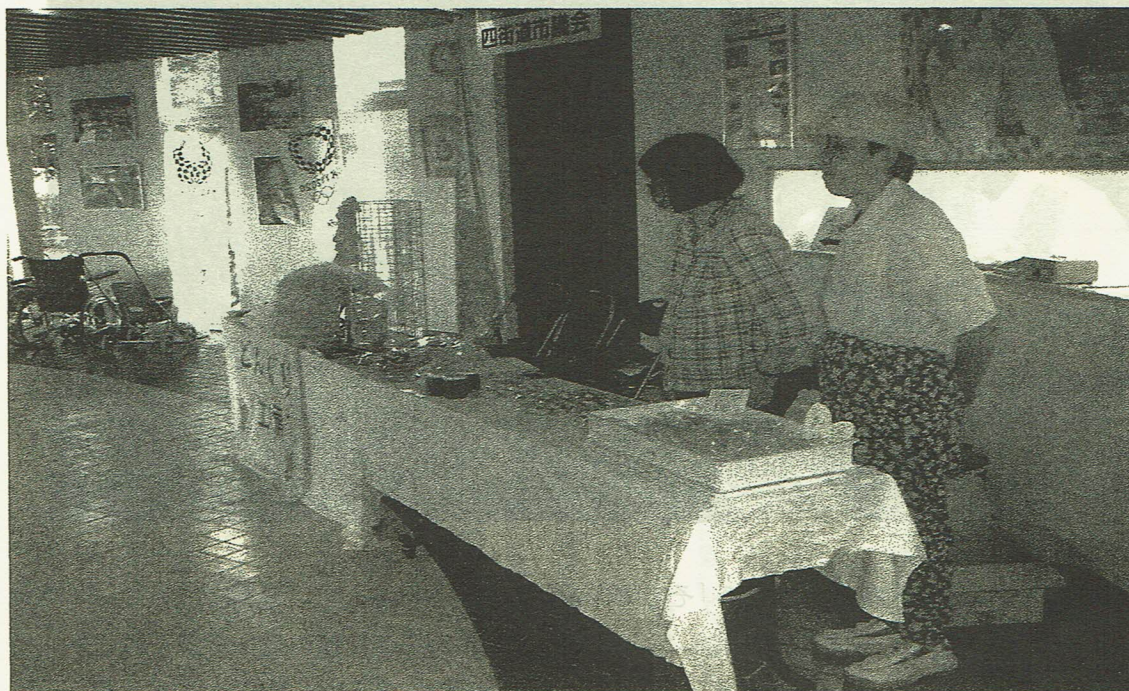


どんぐり工房だより

〒284-0005 四街道市四街道 1-6-11 田中ビル3階 TEL&FAX043-421-6645

E-mail:kibou_donguri@ninus.ocn.ne.jp HP:http://kibou-donguri.org



市役所庁舎での販売場所が「正面玄関」にかわりました

8月の販売日から、従来の食堂から正面玄関（エントランス）に変わりました。市役所においでになる市民の方が必ず目を留めて下さるので、「どんぐり工房」の宣伝効果も販売実績も大いに上がることが期待されます。今話題の「猫ちぐら」にも関心が集まっています。夏季は成山農園で採れたばかりのトマト、ピーマン等の新鮮野菜もたくさん買っていただきました。

中央小学校のバザーや「はちフェス」に参加します

この秋のどんぐり工房の活動

中央小学校のPTA主催のバザーにどんぐり工房が出店の要請を受けました。10月12日（土）開催予定です。児童たち好みの可愛い手芸作品をみんなで作成中です。

また、亀崎で活動している「はちみつ」さんが主催する「はちフェス」というイベントが、この秋初めて「どんぐりの森」で行われます。11月16日です。地域の同じ障がい施設と一緒に仲間づくりに参加します。その他、社協まつり、共栄フリーマーケット、旭ヶ丘オータムフェアにも出店・参加が予定されています。詳しくはどんぐり工房の予定表をご覧ください。

木々に囲まれた涼しい農園で「そうめん流し」

大自然の中でぜいたくで幸せなひと時



残暑の厳しい8月26日、成山の農園で「そうめん流し」を楽しみました。農園を提供して下さっている、任海さんご夫妻のご厚意で特別にしつらえた、そうめんを流す樋は裏山の驚くほど太い竹を真つぶたつに割ったもの、そこへ地下水の冷たい水で冷やされたそうめんが流れてきます。任海さん手作りの野菜や副食も添えて、みんな満腹になるまで食べました。「オクラのねばねばと一緒に食べたのが美味しかった。」「立ちっぱなしで流れるそうめんを追いかけるのが面白い」「農園には初めて行ったがブルーベリーを摘んですぐ食べるのが自然を食べているようで健康的」

参加者の感想の一部です。当日は理事長、副理事長をはじめ理事さんやボランティアさんも、そして利用者さんの家族を含めて、合計20人ほどで暑さを忘れて楽しみました。

農園の台風被害

9月8日から9日にかけての台風で、成山の農園が被害を受けました。ビニールハウス、農器具庫が吹き飛ばされたり倒壊したり。復旧に時間と労力が必要です。ボランティアで力を貸して下さい。ぜひお申し出ください。

<p>短歌</p> <p>小林 修</p>	<p>病院と施設の間 さまよって問題提起 してくれる母</p>	<p>他人(ひと)にされて 嫌だ思うこともある 他人(ひと)にはしないと心に誓う</p>	<p>他人(ひと)にされて 嫌だ思うこともある 他人(ひと)にはしないと心に誓う</p>	<p>装備品 爆買い止めて 生活の 質を高める ことに回そう</p>
------------------------------	---	--	--	--

ハルコの夢のついで

誰だつていふ 夢の中の夢で 会つたのは
(おーくま)

さて なにを喰うかと
大根 すりおろす (一)

夢に見る あのは今も 一五歳
(おーくま)

田回の中で 羽虫 宙を舞う (一)

秋の夜にジャズのレコード一枚 (一)

なんかこれ いいなと思えば 夢でした
(おーくま)

がんばれと 言つなよオレに がんばつてんだ
(おーくま)

夕暮れに はたと気しへ 秋の一日 (一)

思いは遥か 天の月 (一)

飯をくれ

屋台引く者 (一)

地元の人 八九回

(地元の人：A アナウンス：B)

B「人は生きる、それも自分らしくていふ、それは
才知に思われた方でもたやすく事ははない、
偶然にも巡りあわなければ、そのついでに人生を
過すものではないと思ひます、困難を考
へる、では自分とは何か、中学に進学して間
もないのです、午後から解剖を始めるから
昼飯は喰うなと女性の教師が言つのです、中
年の域にさしかかつたけれど才知溢れる、た
だ美人とは言いがたい、だがそのよつなごと
は一切ききてなすついで教師として勤めて
いるのだつてが職に就いてから仕方なく
働いてるついで風には見えない、生徒一人
ひとりの気をつけてる、いえ、毎年かわるが
わる現れる生徒を相手に慣れたもので、それ
でも生徒を大事にした、理科という教科で生
きることを示すついで、私たちが児童相
手にいかに疲れるついであつたかとのちのち
考えた、教室に入ると私たちは各テーブルに
別れ、目の前にはひき鞋が置かれてる、エー
テルを嗅がせ失神してると説明があつた、
では私の普段着ききてる鞋と失神してると
目の前の鞋とはどう違つか、不図疑問に感じ
ました、が所詮中学生になつたので私ではそ
れ以上考へないついで、できなかつた、そして鞋
の腹を裂くついで、私たちは躊躇して

た、失神してるとはいへまだ生きるついで
です、私の手は容易に動かさない、魚をえんば
いた事が無いついであつたか、いえ、それはか
りではなかつた、呼吸を止つてゐるついで、動物
愛護の習慣は当時盛んではなかつたけれど、
生き物を捌くついでに手を出せばついで、
手本を見せてやる、教師はついで、腹を切
つて、皮の下に田回、ほろ、薄い膜があつて
内臓が透けて見える、そして心臓を取り出
た、心臓は強靱に出来ているのか鞋のはらわ
たから引き抜かれてもまだ動いていた、私た
ちにもやれついで、私は初めてメスを持
た、腹は意外なほど軟らかく裂け、少し強
く力を入れたせいか透けた膜まで割つてしま
つた、肺を見た、メスの背で押すと新聞紙を
ちやくちやくに丸めるよつな音がした、私は嫌
気がさし道具を人に渡した、私達は心臓まで
も取り出すついで、はしなかつた、だが教師と同
様に腹を裂いた、罪があるついで、私は私は罪に
問われる、授業が終わるついで、私達は蛙の臓
器を元に戻した、気休めですついで、ついで、
わはならない気分になつて、家に帰つて
も気分は斜めであり飯もよつやく喰つた、気
がかりは夜寝た後でも胸の内に残つた、翌朝
早く登校して職員室を訪ね、教師に鞋はついで
したのか聞いてみたが、『捨てた』とわたしの返
事でした (一)